



鎌倉交響楽団
第105回定期演奏会

鎌倉芸術館大ホール
3月21日(土) 14:00開演

【主催】鎌倉交響楽団 鎌倉市

【後援】鎌倉市教育委員会・鎌倉エフエム放送



鎌倉交響楽団 第105回 定期演奏会



指揮 山上 純司
Conductor Yamagami Junji

ドビュッシー

Claude Debussy

牧神の午後への前奏曲

Prélude à "L'après-midi d'un faune"

プーランク

Francis Poulenc

バレエ組曲「牝鹿」

Les Biches

~~~~ 休憩 (20分) ~~~~

Intermission (20min.)

フランク

César Franck

交響曲 二短調

Symphony D moll

第1楽章 レント・アレグロ マノントロッポ 二短調  
1st mv. Lento; Allegro ma non troppo.

第2楽章 アレグレット 変ロ短調  
2nd mv. Allegretto

第3楽章 フィナーレ・アレグロ ノントロッポ 二長調  
3rd mv. Finale: Allegro non troppo



指揮 山上 純司  
Conductor Yamagami Junji



1960年水戸市生まれ。東京藝術大学音楽学部指揮科卒業。同大学院音楽研究科指揮専攻前期修士課程終了。指揮を汐澤安彦、遠藤雅古、渡邊暁雄、ヴィクター・フェルドブリル各氏のもとで学ぶ。大学院2年次より作陽音楽大学に勤務、オーケストラ、吹奏楽及び指揮法を担当。1994年3月まで専任講師、助教授を務めた。1990年より2年間北西ドイツ音楽アカデミー・デトモルト音楽大学に留学。カール・ハイント・ブレメケ、ペーター・ヤコビー教授らのクラスで、主にオペラの指揮を学ぶ。また、モーシェ・アツモン、ガリー・ベルティエニ、ミヒ

ャエル・ギーレン、ミクローシュ・エルディリー各氏からも指導を受ける。留学中より、ルーマニア国立オラディアフィルハーモニー交響楽団、チェコの西ボヘミア交響楽団、ポーランドのフィルハーモニア・ズデッカ等の定期演奏会に出演した。日本では、これまでに群馬交響楽団をはじめ、ニューフィル千葉、東京シティフィル、神奈川フィル、名古屋フィル、大阪フィル、オーケストラアンサンブル金沢、岡山フィル、瀬戸フィル、広島交響楽団、札幌フィル、広島交響楽団、札幌交響楽団等を指揮している。またオペラの分野では、「フィガロの結婚」「コシ・ファン・トゥッテ」「魔笛」「椿姫」「リゴレット」「アイダ」「ラ・ボエーム」「蝶々夫人」「カルメン」「こうもり」等を、バレエの分野では、「白鳥の湖」「くるみ割り人形」「ドン・キホーテ」等を指揮している。2003年1月、ハイドンの「無人島」で新国立劇場に初登場した。

鎌倉交響楽団とは、第93回定期(2009年)にてショスタコーヴィチ「交響曲第5番」、創立50周年記念第99回定期(2012年)にてドボルジャーク「新世界より」などで共演している。



田中歯科 鎌倉

鎌倉市小町1-2-7  
東急ストア 鎌倉店 別館4F

TEL : 0467(38)8902 FAX : 0467(38)8903

<http://www.tanaka-dc.com/>

## 曲目解説・Program Note

フランスでは1830年にベルリオーズの幻想交響曲という革新的な交響曲が登場するものの、その後はオペラ・歌曲・バレエの分野の音楽が偏重される時代が続きます。このような中、サン＝サーンス、フォーレ、フランクらは純粋な器楽曲の再興を試みる「フランス国民音楽協会」を1871年に設立、1886年にはサン＝サーンスが交響曲第3番、1889年にはフランクが交響曲二短調を発表し、「幻想交響曲」から実に半世紀を超えてフランスの交響曲が誕生します。今日はこのフランクをはじめフランスの作品を3曲、山上純司氏の指揮でおとどけます。

### 牧神の午後への前奏曲

クロード・ドビュッシー (1862～1918)

19世紀後半の西欧では、絵画・音楽・文学などの芸術全般でロマン主義から一歩踏み出そうとする動きが出てきます。ドビュッシーはマーラーより2歳下、R・シュトラウスより2歳上にあたり、マーラーやR・シュトラウスが後期ロマン派の巨人としてその名を残すのに対し、ドビュッシーはロマン派音楽の限界を見据え、伝統的な様式や和声、調性の縛りから解放された新たな次元の音楽を模索します。そのような中で生まれたのが、この「牧神の午後への前奏曲」(1894年初演)で、近代音楽の幕開けを鮮烈に示す記念碑的な作品と言われています。

象徴派の詩人であり思索家のマラルメの周りにモネ、ルノワール、ドガなど印象派のそうそうたる芸術家が集う中、音楽家では唯一人参加していたドビュッシーもまたマラルメに深く傾倒します。そして、マラルメの詩作「半獣神の午後」に「前奏曲」「間奏曲」「終曲」を付けた朗読劇を構想し作曲に取りかかりますが、結局この「前奏曲」のみが完成し、残念なことに残りの2曲が完成することはありませんでした。

(ステファヌ・マラルメ「半獣神の午後」簡訳)･･････暑くけだるい夏の日の午後。森影の草むらで  
半人半獣の牧神がもの憂げにまどろんでいる。彼は、岸边で水浴をしている美しい妖精を夢想し、激しい  
欲望を感じて妖精を捉えようとする。その幻影は消えてしまう。諦めきれない彼は、さらに夢想を広げ、  
今度は愛の女神ヴィーナスを追い求め、ついに捉える。抱擁・官能の嵐・歓喜。やがて幻影は消え、ま  
どろみから醒めて茫然とする牧神は、何時の間にか再びまどろみ始めている･･････

冒頭のフルートが牧神の物憂げなまどろみの表現とすれば、続くオーボエ・弦楽器は妖精へ寄せる想いと欲望を、そして中間部の弦楽器の全合奏による盛り上がりは女神ヴィーナスへの激しい官能の高揚と陶醉を表すのでしょう。やがて空しい目覚めのなか、再び静かにまどろむかのようにハーブの下降音型とホルンの和音で曲を終わります。(演奏時間約10分)

### バレエ組曲「牝鹿」 めじか

フランシス・プーランク (1899～1963)

バレエ・リュス(ロシア・バレエ団)の主宰者ディアギレフは「天才を見出す天才」といわれ、新進作曲家にバレエ用の新作を委嘱することで、ストラヴィンスキーのバレエ3部作、ラヴェル「ダフニスとクロエ」、ファリャ「三角帽子」、プロコフィエフ「道化師」などの傑作とともに才能豊かな新人作曲家を世に送り出しました。そのディアギレフが、まだフルオーケストラ作品を手がけたことのない若き作曲家プーランクにバレエ曲を委嘱します。それがバレエ「牝鹿」で、1924年の初公演では好評をもって迎え入れられ、プーランクは本格的な作曲家仲間入りを果たすことになります。

今日お聞きいただく組曲版は、プーランク自身が後年にバレエ版「牝鹿」から数曲を抜粋し演奏会用に改訂した作品です。「牝鹿」とは「若い娘たち」「かわいい子」の比喩で、若々しくシンプルな表現、コミカルな展開に終始し、まさに才気滂沱。何処に向かうのかわからないような不安定さから飄然と美しい旋律に戻る、といった「快活さ・軽妙さ」がとても魅力的です。

全体は5つの曲で構成され、プーランク特有の金管セクションの明るい響きが効果的に用いられています。(演奏時間約20分)

- 第1曲 バン!という弦を弾く音!金管から弦楽器へと軽やかなメロディが受け継がれていきます。
- 第2曲 憂いを帯びた木管の優しいメロディ、それを突然ささぎる金管。静かにひっそりと終わります。
- 第3曲 速いテンポで始まりいろいろと様相を変え、最後は途切れることなく第4曲に進みます。
- 第4曲 清楚で真まじやかな表情と勇ましい表情が入り替わり立ち替わり現れます。
- 第5曲 これまでのフレーズを思い出すように曲は明るく軽快に進み、やがてラグタイム風になります。最後は金管を中心に全奏で盛り上がり強打音で終わります。

交響曲 二短調

セザール・フランク (1822 ~ 1890)

若くしてドイツ系の両親とともにベルギーからフランスに移住したフランクは、卓越した即興演奏の腕をもつオルガン奏者であり、また敬虔なカトリック信徒でした。教会専属のオルガニストの職の傍ら、宗教曲やオルガン曲の創作をおこなうものの作曲家としては無名の存在でしたが、50歳に手の届く頃パリ音楽院オルガン科教授に着任すると、彼の音楽に向き合う姿勢は多くの学生たちの信望を集め、ショーソン、デュバルク、ダンディ、ルクーなど、後にフランク派(フランクスト)と呼ばれる多くの新進作曲家を育成し世に送り出します。1871年のフランス国民音楽協会の創立への参加や、学生や弟子たちへの作曲の指導と対話を通じ、彼の創作力は自覚しい高まりを見せ、「ヴァイオリン・ソナタ」「ピアノ五重奏曲」「弦楽四重奏曲」など、彼の傑作と言われる作品のほとんどが1880年から晩年までの10年の間に生み出されます。

この「交響曲二短調」も、晩年に近い1888年に完成・初演された彼の唯一の交響曲作品で、ドイツ的ともいえる重厚な構成、厳粛な音色と清廉で美しい旋律に溢れ、現在では多くの人々に愛される名曲となっています。また、この曲は全楽章を通じて、わずかに数音から成り立つ「断片的なパターン」(循環動機)を繰り返し登場させて全曲を統一的に構成する「循環形式」を巧みに、そして効果的にもちいた楽曲としても知られ、3つの循環動機のうち動機①と②は第1楽章、動機③は第2楽章、そして第3楽章では動機①②③のすべてが登場して主題を形成します。



第1楽章

荘重で緊張感のある序奏と速いテンポの主要部からなる楽章で、まず低弦の厳粛な序奏(動機①)から始まりすぐに主部のアレグロに入り動機①は激しさを増し、やがて輝かしいシンコペーションのリズムの動機②が登場したのち、動機①と②を軸に展開を続け最後には再び動機①が全合奏され力強く終わります。

第2楽章

緩徐楽章とスケルツォを兼ね備えた楽章で、ゆったりとした冒頭のハーブ、そして弦楽器とハーブの伴奏によるイングリッシュホルンの憂いのあるどこか懐かしい旋律(循環動機③)、弱音器付きのヴァイオリンの繊細で神秘的な3連譜、クラリネットの舞曲風の旋律が印象的です。

第3楽章

弦楽器の力強い「刻み」とチェロとファゴットの軽快なテーマ(動機②の変形)に続き、動機①②③が徹底的に組み合わせられて変化していき、クライマックスでは第2楽章のイングリッシュホルンの旋律をオーケストラ全体で堂々と奏でたのち、この楽章開始の「軽快なテーマ」を全合奏して輝かしく晴れやかに全曲を閉じます。

フランクの精神を引き継いだフランクストの一人、作曲家ヴァンサン・ダンディはフランクについて「真の意味で彼は謙虚な人であり、彼の作曲の動機は栄光や金や安易な成功ではなく、芸術を手がかりに自らの思考と感情を表現することだった」と伝えています。(演奏時間約40分)

耳鼻咽喉科、アレルギー科

芋川 耳鼻咽喉科クリニック

鎌倉・松喜屋小町ビル3階 院長 芋川 英紀

電話 0467 (24)7273

今回の演奏会にあたり、石川 達也氏、木原 亜土氏、清水 史広氏、高山 美佳氏、高橋 達馬氏、徳武 敦氏  
 ならびに平林 剛氏にもご指導いただきました。ありがとうございました。

団員出演者名簿

1st Violin

● 青木 淑子  
 石岩 かおり  
 川西 清美  
 河原 寛  
 鈴木 渉子  
 須長 麗子  
 曾根 民子  
 竹谷 美江  
 永井 奈美  
 福岡 徹  
 八木 育  
 米原 江彩

2nd Violin

石崎 立子  
 橋本 智子  
 梅原 哲吾  
 江間 智隆  
 ● 五味 晶  
 ● 重兼 文恵  
 ● 白水 晶  
 関口 奈  
 田丸 杏  
 戸田 陽子  
 中橋 美木子  
 御室 美佐子

Viola

大貫 歩美  
 梶 成彦  
 ● 佐木 敬史  
 高橋 良史  
 田ヶ原 恭彦  
 ● 高村 祐子  
 中村 惠奈  
 古屋 透  
 福島 奈清  
 前島 安  
 水上 清

Cello

飯田 達男  
 ● 伊東 敦  
 若美 雄  
 大庭 伸仁  
 梶 淳子  
 藤 洋子  
 志村 達広  
 鈴木 良樹  
 中井 史子  
 二川 史子  
 毛利 雄一郎  
 山田 雄一郎

Contrabass

大内 達郎  
 澤 逸人  
 藤 正  
 ● 佐藤 恒彦  
 ● 中尾 澄夫  
 廣瀬 晋  
 福島 健均  
 矢野 晋  
 ● 渡辺 晋

Flute & Piccolo

安藤 美奈子  
 曾根 美樹  
 ● 高畑 裕恵

Oboe & Englishhorn

桑野 若菜  
 清水 里美  
 ● 中橋 英純  
 ● 山崎 一哉  
 山本 賢二

Clarinet

内田 千枝子  
 片山 真知子

Trombone & Tuba

◇ 榑田 陽祐  
 桜井 貴志  
 田村 亮  
 ● 府川 創  
 藤村 作夫

Percussion

● 今城 信彦  
 佐藤 正平  
 ● 高橋 正彦  
 ● 山本 裕子

Harp

※ 杉山 敦子  
 ※ 藤木 沙織

Celesta

御室 美佐子

Fagotto

● 篠原 祐子  
 前沢 実  
 富井 一夫  
 真柳 智  
 三浦 隆昭  
 三原 真一

Horn

芥川 敬  
 白井 賢司  
 ● 福地 亜希  
 宮崎 敏幸  
 山崎 和之  
 山田 克彦

Trumpet

後藤 三穂子  
 津金 勝枝  
 ● 長田 純子  
 ● 福地 稔栄

● パートリーダー

◇ 団友

※ 賛助出演

鎌倉交響楽団では仲間を募集しています。コントラバスは楽器貸与可。連絡先：鎌倉交響楽団事務局 田中 方 TEL:0467-25-3512  
 なお、募集終了の節はご容赦ください。♪♪♪ 鎌倉ホームページもご覧ください。http://kamakura-symphony.com/wordpress/

♪♪♪ 録音のファミコン ♪♪♪  
**第13回 ファミリーコンサート**  
 鎌倉芸術館 大ホール  
 2015年7月11日(土) 14:00 開演予定 入場料 ¥1,000  
 指揮 佐伯正則 ピアノ 北原美枝子 司会 永井邦子  
 ● バーンスタイン「キャンディード」序曲  
 ● アンダーソン「ブルー・タンゴ」「舞踏会の美女」  
 ● ガーシュイン「ラプソディ・イン・ブルー」  
 「バリのアメリカ人」

♪♪♪ 鎌倉交響楽団 ♪♪♪  
**第106回 定期演奏会**  
 鎌倉芸術館 大ホール  
 2015年10月31日(土) 14:00 開演予定 入場料 ¥1,000  
 指揮 上野正博 ホルン 日高剛 (元N響首席代行)  
 ワーグナー 歌劇「さまよえるオランダ人」序曲  
 グリエール ホルン協奏曲  
 ブラームス 交響曲 第1番 8短調

あなたもストラドの音に  
 挑戦しませんか?  
 ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ・コントラバスの作り方教えます。

鎌倉山弦楽器工房 検索

# 生徒募集

**鎌倉山弦楽器工房** TEL.0467-44-8665  
 神奈川県鎌倉市寺分2丁目26-12

HAIR SALON

JURI et MODE

鎌倉市御成町11-2  
(ヤのヤビルB1)  
TEL.(0467)22-4105

信頼と確かな技術の  
メガネの専門店  
八幡宮前通り

森川眼鏡店

メガネのことならなんでもお気軽にご相談ください

- 遠中近用レンズ
- 中近用レンズ
- パソコン用レンズ



落ち着いた店内で  
ご希望・お悩みをお聞きし  
あなたに合ったメガネを  
御調整致します。

☎ 0467-  
22-2964



輸入楽譜専門

全国すぐ  
郵送します。



KAMAKURA  
MUSICJA

(株)カマクラムジカ

TEL.0467-24-8766  
FAX.0467-22-9755

〒248-0003 鎌倉市浄明寺2-1-33  
http://www.kamakura-musica.com/  
定休日 = 日曜日・祝祭日

カフェレストラン

Pause

パウゼ

鎌倉芸術館内一階

TEL: 0467-45-3140

FAX: 0467-45-3140

**TAKUZO**  
SHINYOKOHAMA

ここで見たがる、音

〒222-0033 鎌倉市新横濱1-1-1  
TEL&FAX 045-473-7593  
info@vn-takuzo.com http://vn-takuzo.com

弦楽器工房 花のれん 調音・修理・販売

■営業時間: 10:00~19:00 (予約優先)  
■定休日: 日曜日、水曜日、祭日  
■毎月曜日は完全予約制

和風居酒屋 花のれん

▷営業時間◁

平日 PM4:30~AM12:00 休日 PM3:00~AM12:00  
大晦日・元旦 休業

☎(0467)46-0080



seiko

新築・リフォーム・土地活用

清興建設株式会社

お問い合わせは

鎌倉市大町1-10-6

☎0467(24)3700 http://www.reformplus-kamakura.com



鎌倉生まれ、鎌倉育ち。

鎌倉ビール

http://www.kamakura-beer.co.jp/

災害などへの備えは  
万全ですか？  
大切な財産や貴重品を  
しっかり守ります！

**貸金庫**  
お申し込み受付中！

詳細は右記までお気軽にお問い合わせください。  
※お申し込みにあたっては、当行所定の審査があります。



Afresh あなたに、あたらしく。

横浜銀行 鎌倉支店

TEL:0467-23-3131

鎌倉といえば・・・

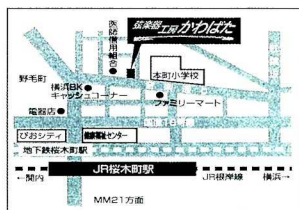
**鳩サブレ** 

**豊島屋**

鎌倉八幡宮前通り  
TEL 0467-25-0810(代)

《製作・修理・毛替・販売》

**弦楽器工房かわばた**



TEL.045-261-5300 〒231 横浜市中区花咲町2-77 大久保ビル2F ●営業時間/ AM10:00～PM7:00 (日・祭休み)

世界で一番小さいデパート

**アトリエ K&T (わや)**

古布ちりめんの香袋など  
オリジナル商品、かわいいもの、素敵なもの、  
両手いっぱいにあります！

営業時間/10:00～16:00

〒248-0002 鎌倉市二階堂 38-9

営業日/木、金、土

TEL.0467-24-5918

フリーダイヤル 0120-50-2615

<http://homepage3.nifty.com/k-t/>

